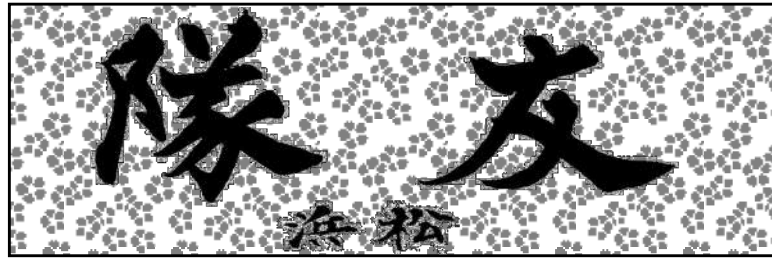


浜松支部理念



互奉協 助仕力



発行所:公益社団法人 隊友会 静岡県隊友会 浜松支部
発行責任者:新田 満
編集責任者:春名 正徳
題字:寺 阪 光 男
E-mail:taiyukai.hamamatsu@gmail.com
ホームページ:http://taiyukai.or.jp/wordpress/

平和を、仕事にする。
陸海空自衛官募集
最新情報は、ホームページでご確認ください。
自衛官募集ホームページ
自衛官募集 検索



受章おめでとうございます。
益々ご健勝にて
ご活躍くださいますよう
祈念申し上げます。



第37回危険業務従事者叙勲
浜松支部から1名が受章
瑞宝双光章
三上 昭人 隊友

令和3年度静岡県隊友会浜松支部役員

- ◎支部長 新田 満
○副支部長 佐貫 武臣
□会計 山口代 芳則
☆監事 村上 富美
◇理事 花水 勝彦
岩本 章法
河合 利彦
阪口 博治
鈴木 忠信
鈴木 俊彰
鈴木 雅彦
外屋 和夫
中谷 光一
成田 裕一
長谷川 正徳
春名 克浩
古家 誠二
谷松 地下

役員一同「奉仕の精神」で頑張りますので、ご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

喜寿を迎えて



内山 好夫 隊友
昭和20年7月1日生まれ

喜寿を迎えることが出来、これまでにお世話になった多くの皆様に感謝の気持ちで一杯です。そして自分もこの年になったかと感慨ひとしおです。

私は、海軍軍人であつた父親が戦死した半年後に浜松に生まれましたが、基地・自衛隊を身近に感じて育つ内、ごく自然に進路を自衛隊に決め防大に入校しました。在隊間は、数多くの職務に就く機会に恵まれましたが、どこでもなんらかの形で公のもの、その先にある日本の国というものを

常を感じながら勤務でき、また、色々な方々と交流でき、そのような中で民間を含めて今もつて声をかけてくれる方々がおられることを幸せに思っています。平成十六年に退官、その後五年間二次就職、そして平成二十五年に東京から故郷浜松に戻り、皆さんのお世話になつております。浜松の住人になるのは、一年四ヶ月の浜松基地勤務を除けばほぼ半世紀ぶりでしたが、転勤族であちこち回っている間も、地域の人々及び小、中、高の仲間の付き合いには極力参加し

メールアドレスの登録のお願い
浜松支部では、支部の行事、会員の入院、訃報などの情報を早急にお知らせするために、メールアドレスををお持ちの方は下記の浜松支部のメールアドレスに登録の氏名等を記載してメールの送信をお願い致します。
taiyukai.hamamatsu.s@gmail.com



記事内容は隊友の近況や趣味、俳句、写真、絵、マンガ、など隊友の皆さんにお知らせ下さい。記事はお近くの役員にお渡し下さるか、郵送、または、メールにて送信して下さい。

記事募集

本棚の片隅(7)

風に吹かれて

五木寛之 著 読売新聞社 (1968)



作品から受ける印象と同じようであった。本書は、

五木寛之氏の作品に初めてあったのは、「風に吹かれて」であった。すでに石原慎太郎氏は「太陽の季節」で登場しており、小田実氏は「何でも見てやろう」で読者をとらえていた。石原氏を真夏の太陽だとしたら、五木氏は北欧の白夜かもしれない。五木氏を評してある作家は、「五木教の教祖」と呼んでいる。最近の五木氏はそのような作風と風貌がうかがえる。

昭和42年週刊読売誌上に連載された。それに一編を加えたものである。全47編の中で、一番印象深かった「最初のミニスカート」から、抜粋する。「やがて消毒がはじまった。男たちはズボンの前を捻げて、一人づつアメリカ兵の前に進み出た。黒いホースが震え、DITの白い粉がぱつと飛び散った。「あれを見ろよ!」と仲間の一人が、すつとんきような声をあげた。「あいつ、変なものはいやがら」それは小学校六年生ぐ

らしい女の子で、たしかに私たちの見なれないものをはいていた。「ばか。あれはミニスカートだ。」と中学生の一人が笑っていた。「昔の女学生は、みんなはいていたんだぞ。」私は仲間をおしのけて、前にのりだした。たしかにそれはスカートだった。すごく短いスカートで、白い、まっすぐな脚が膝の上の方まで、すっかりむき出しになっていた。片足の足のふとももに、赤くマーキュロのあとがついているのまで見えた。私は口の中が、ひどく乾いて、息苦しいような感じがした。その女の子は、袖なしの少ない布でできたシャツを着ていた。まぶしうに目を細めながら、白い額にはりついた前髪を、しきりに小指の先でかき上げていた。私たちが引き揚げ不

良の一群は、その高貴な美少女の白い足を恐ろしいものでも見るように息をつめて眺めていた。「みる!みる!」と小学生がわめいた。女の子が、アメリカ兵の前に進み出て、スカートの上の方をおし広げたのだった。アメリカ兵は、太いホースを差し込み、レバーを押した。しかし白い粉は短いスカートの中を素通りして、地面にパツと煙をまき上げただけだった。兵隊は苦笑し、ホースを引き抜くと、素早く女の子のスカートの下に突っ込んだ。「あつ!」と私たちは思わず声をあげたスカートが一瞬、ふわりとめくれ上がり、私たちの目の前に、ゴムの食い込んだ少女のふとももがむき出しになった。彼女は、まぶしうに目を細め、それから私たちの方を見を微笑した。「

- ◆ 支部全般
新田 支部長 (TEL 090-1833-5919)
- ◆ 慶弔、入退院等
佐貫 副支部長 (TEL/FAX 485-5084)
- ◆ 行事等
山口 副支部長 (TEL/FAX 476-3844)
- ◆ 入退会、住所変更等
鈴木 理事 (TEL 457-5758)
- ◆ 会計
村上 理事 (TEL/FAX 438-2214)
- ◆ 新聞
春名 理事 (TEL/FAX 462-2714)

各担当者に電話される場合は、留守番電話の場合は伝言を残していただくようお願いいたします。また、メールが送信が可能な方は、メールでの連絡をお願いいたします。

大切なお願い



北鮮から逃れて、38度線を超え、開放された米軍のキャンプで、生まれて始めて見たミニスカートに驚きが、みずみずしく伝わる一編である。

会員募集中

ご近所の退職された方、お知り合いで退職された方、また本隊友会に賛同される方など、広く会員を募集していますので、ご協力をお願いいたします。細部は下記のメールにお問い合わせください。
E-mail: taiyukai.hamamatsu.s@gmail.com
担当: 鈴木

広告募集中

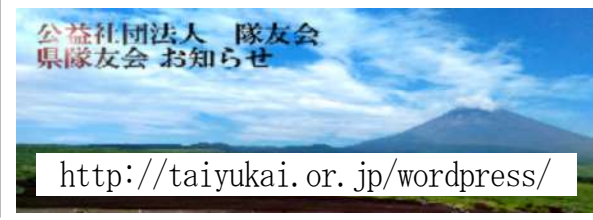
本紙に広告を掲載しませんか? 細部は、下記のメールにお問い合わせください。
E-mail: taiyukai.hamamatsu@gmail.com
担当: 春名

隊友の訃報

折田 一水 隊友
(元空自 1術校)
令和3年10月9日 逝去
10月11日 通夜
10月12日 告別式
告別式は近親者のみ
謹んでお悔やみ申し上げます

浜松支部行事予定

◎一水会(理事会):
令和4年1月12日、2月2日、3月2日
18:30~
浜松市農村環境改善センター
※ 役員の方は必ずご参加下さい。



支部の会勢

数字で見る支部活動
(R3. 7. 6現在)
★実勢会員数: 414名
正会員: 384名
特別会員: 30名
★「隊友はままつ」発行部数: 600部
手配り: 122部
メール便: 289部
基地内配布: 189部

今年もあとわずかになってきました。今年にはコロナで行事もすべて中止となりましたが、来年はコロナが終息して浜松支部の行事が例年どおり実施できればいいのですが・・・
第6波が来ないことを祈ります。
次号の本紙発刊は、来年1月を予定しております。お楽しみに・・・良いお年を・・・

編集後記